

保護者の声

「様々なイベントで成長する経験」

2024年2月

我が家は既に日本へ本帰国をしておりますが、主人のコロンビア駐在時、息子がボゴタ日本人学校で小学校1年から3年間お世話になりました。インターナショナルスクールか日本人学校にするかで迷いましたが日本人学校にしてよかったです。

勉強面では多くても生徒4-5名に担任の先生が1人付きますので日本では考えられないぐらい手厚く指導やサポートが得られます。教科によっては12月までに教科書の内容が終わり3学期は復習や次学年の予習をすることもありました。またネイティブによる英語、スペイン語の授業もあり、日本の教育以上のことを習得できるのも魅力的です。現地校との交流や現地スーパーへ訪問をする機会もあるので、コロンビアの文化に触れながら、習得した英語＆スペイン語を活用する場面もありました。

生活面では上級生、下級生とのつながりのなかで様々な経験が出来るのも魅力です。小学部1年生で入学しましたが、上級生のお兄さんお姉さんはいつも優しく接して下さり、常に下級生のことを気にかけ困っていると助けてくれました。ですので、息子もあっという間に学校に慣れ毎日楽しく過ごす事ができました。学年関係なく全員の仲間意識が強いので、休み時間には先生も生徒も一緒になってサッカーをしたり、野球をしたり、お弁当は全員一緒に食べたりと、みんな仲良しで暖かい学校です。

勉強以外に運動会、学芸会、コロンビア学習発表会、駅伝大会、きさらぎ祭と様々なイベントの中で子どもの成長が期待できるのも良いところでした。太鼓の発表、学芸会では演劇、学習発表会では楽器の発表をする機会もありました。どの行事でも生徒一人一人が役割を持ち主役となります。みんなで助け合いながら力を合わせて一つの作品を作り上げる姿は感動的で、我が子だけではなく生徒みんなの成長が見ることができ、とても嬉しくなります。人前で発表する機会が多いので、精神面だけではなく自己表現能力が鍛えられるのを感じていました。

最後にコミュニティの観点では運動会やきらさぎ祭等でボゴタに住む日本人や現地の方々と触れ合えるのも大変良い経験になったと思いました。運動会は地域の子どもや大人が参加する一大イベントでとても暖かく楽しい雰囲気です。ボゴタ日本人学校は、先生方だけでなく地域の皆様にも支えられ子供達にとって、とても恵まれた環境だと思います。